

	<h1>ふくりゅう</h1>	<b>特定非営利活動法人 日本下水文化研究会会報</b>
		発行責任者 稲場紀久雄(運営委員会代表) 編集担当 酒井彰(事務局長) 令和2年9月26日 通巻101号

## ふくりゅう 101号 目次

バルトン先生 121年後のメッセージ ～2020年バルトン忌報告～	稲場紀久雄	1
コロナウイルス禍におけるバングラデシュの人々	Qazi Azad-uz-zaman	3
日本下水文化研究会 2019年度決算・2020年度事業予算の改定		4
運営委員会から／編集後記		6

## バルトン先生 121年後のメッセージ ～2020年バルトン忌報告～

本会代表 稲場 紀久雄

今年のバルトン忌は、特筆に値するものになりました。本会は、毎年バルトン忌を開催して来ましたが、今回は特にエポック・メイキングだと思います。

その理由は、主に次の5点です。

- (1) 今回は、感染症流行下初のバルトン忌であったこと。
- (2) 台湾の謝長廷大使が初めて参加されたこと。
- (3) 記念講演会を台湾大使館（台北駐日経済文化代表処）ホールで開催し、バルトン先生胸像再建祝賀式を行ったこと。
- (4) 記念講演では、昨年エディンバラのヘリオット・ワット大学で開催された先生の叔母メアリー・ヒル・バートン生誕200年祭を回顧し、叔母メアリーについて紹介されたこと。
- (5) 日本—台湾—スコットランドの紐帯形成の可能性が芽生えたこと。

私は、今回のバルトン忌を通して没後121年にして先生からのメッセージが届いたような気がしました。メアリー・ヒルに関する講演草稿を執筆している過程で、一つの着想が閃いたのです。以下に理由5点を簡単に説明し、最後に先生のメッセージについて触れます。

### (1) 新型コロナ禍の中のバルトン忌

今年は、29回目のバルトン忌ですが、これまで感染症流行下だったことは一度もありません。先生来日当時の重要な感染症はコレラです。コレラは細菌、新型コロナはウイルスと元凶は違います。しかし、コレラの致

死率の高さは、新型コロナの比ではありません。先生は、生命の危険を顧みず来日されたのでした。バルトン忌の意図は、先生在世当時に立ち帰り、わが国の公衆衛生や水環境保全のあり方を考えようというものです。今年のバルトン忌は、生命リスクを実感しつつ、当時の人々の苦闘に思いを馳せる機会になりました。

### (2) 謝大使の参加

台湾大使(駐日代表処代表)のバルトン先生の墓碑参拝は、日台交流史に記録されるべき出来事です。台湾の首都・台北市当局は、バルトン先生の胸像再建を進めています。これもまた、戦後75年を経て実現しつつある新事実です。

新型コロナ・パンデミックは、台湾をも巻き込みましたが、台湾政府は世界各国に先駆けて流行を阻止し、世界の耳目を集めました。私は、この過程でバルトン先生の台湾での業績が再評価されたと思います。アメリカでは、黒人差別解消を訴えて、銅像が数多く引き倒されましたが、台湾では先生の胸像が新たに再建されようとしています。何がこの違いを生み出したのでしょうか。

現在の台北市長は、就任以前は練達の医師であり、謝大使と昵懇の方です。台湾は、中国と複雑な関係にありますから、謝大使の墓碑参拝は政治的決断を要したと思います。バルトン先生は、台北市水道水源地探査行の過程で風土病に罹り、その後過労が蓄積して落命されました。

謝大使が台湾を代表する立場で先生の墓碑を参拝さ

れた事実は、日台交流史上特筆に値します。大使は、墓前で一場のスピーチを行われ、先生に感謝の意を捧げられたのです。



バルトン先生の墓前に献花する謝長廷・駐日代表

### (3) バルトン先生胸像再建祝賀式典

バルトン忌の開催日は、最初8月1日でした。それが5日となり、最終的に20日になった理由は、先生の胸像再建祝賀式を台湾大使館で開きたいという意図にありました。5日への変更は、先生の命日に参拝したいという謝大使の希望に沿うためでしたが、「台湾民主化の父」李登輝元総統が急逝され、5日は喪中になりました。そこで、お盆明けの20日となったのです。私は、元総統の民主化路線こそ、バルトン先生の胸像再建の原動力と考えています。私は、先生の胸像再建が民主化の象徴となることを願っています。

私は、胸像再建を日本人にとって慶賀すべき出来事と捉え、除幕式典には本会から代表団を派遣したいと考えました。しかし、新型コロナ禍終息の目途は現在全く立ちません。そこで、恒例のバルトン忌の際に台湾を代表するお立場の謝大使に私達の祝意を伝え、お祝いの品を贈呈することが最適と判断したのです。謝大使は、私の申し出を快諾され、祝賀式典をバルトン忌の一環として台湾大使館で挙げることを了解されました。

お祝いの品は、決まっていました。本会は、2006年バルトン先生の故郷エディンバラに先生の顕彰碑を建立し、3年後の2009年桜の苗木の植樹と憩いのベンチを寄贈しました。そこで、今回も日台友好の記念植樹と憩いのベンチ設置の費用の一部を贈ることにしました。お祝い金は、出来るだけ多くの日本人の募金に仰ぐことが趣旨に適うと考え、急遽「日台友好市民の会」を結成し、前田武志先生（元国交大臣）に代表になっていただきました。さらに、共同代表を黒須隆一氏（台湾友の会会長）、野村喜一氏（日水コン会長）、小松昭夫氏（小松電機社長）、篠本勝氏（日本水道新聞社社長）、西

原一裕氏（水道産業新聞社社長）をお願いしました。その上で、本会会員や関係者に募金を呼び掛け、本会の資金と合わせて総額30万円を用意しました。さらに、私は、個人的に所蔵しているバルトン先生に関する史料を贈呈しました。贈呈史料の中でも、先生が1894年ロンドンで出版されたテキスト『都市の給水』初版本は、恐らく今では世界でも何冊も残っていない稀覯本です。台湾の水を守る志のある青年諸君に是非見て欲しいと願っています。

祝賀式典は、謝大使のスピーチで始まりました。謝大使は、「私は台北生れで、子供の頃から水道水で育った」と思い出を話されました。その後、日台友好市民の会代表、共同代表各位の祝辞とお祝いの贈呈、バルトン先生に関する史料の贈呈とおよそ40分余り続きました。会場には温かい空気が流れていました。

### (4) 記念講演と「女傑・叔母メアリー・ヒル・バルトン」

メアリー・ヒルは、お父さんジョン・ヒルの妹です。生涯を女性の権利向上に捧げた人です。中でも、ヘリオット・ワット大学の前身「ワット高等技術専門学校」時代に女性初の終身理事となり、女性に高等技術教育の門戸を開きました。バルトン先生の異母の姉エラは、同校の女性初の卒業生です。

ヘリオット・ワット大学には「メアリー記念室」があり、昨年生誕200年記念祭を催しました。私は、同記念室の学芸員ヘレン・テラー女史に記念祭の資料を送ってもらいました。記念講演では、叔母メアリー・ヒルとバルトン先生の関係に焦点を当てました。メアリー・ヒルは、高等技術教育に精通していたにも関わらず、先生が大学教育でなく、徒弟修行に入ることに反対しなかったこと、日本の高等技術教育の体系を創ったヘンリー・ダイヤーから日本の実情を聞いていたと思われることなど、バルトン先生の人生に係る叔母メアリー・ヒルの行動とその背景の考えをお話しました。



講演会の出席者ら。前列左より、前田武志・日台友好市民の会代表、黒須隆一・台湾友の会代表、謝長廷・駐日代表、稲場紀久雄・日本下水文化研究会代表

記念講演は、私の講演以外に田中喜芳氏の「3人のバートン、二人のドイル」がありました。シャーロック・ホームズで有名な作家コナン・ドイルは、その少年時代、叔母メアリー・ヒルの下で先生と兄弟のように育ったのでした。

### (5) 日・台・スの紐帯形成

バルトン先生の曾孫・鳥海幸子さんがバルトン忌に寄せられたメッセージの中に「台湾・英国・日本を結ぶ、良き記念事業となりますよう祈りつつ・・・」と言う一文がありました。台北のバルトン先生胸像再建は、恐らくその機縁を創ることになるでしょう。

私が記念講演のために先生の足跡を改めて辿っていたとき、先生の精神的バックボーンはベンサム主義だと気付きました。ベンサム主義の各論の一つ目が女性

の権利擁護、二つ目が公衆衛生行政の確立です。叔母メアリー・ヒルは一つ目に、バルトン先生は二つ目に取り組んだのです。ベンサム主義は、いわゆる人間平等主義で、基本思想は次の短い英文に象徴されます。

“everybody to count for one, nobody for more than one”

これこそ、福沢諭吉の「天は人の上に人を創らず、人の下に人を創らず」の原典です。そして、私は、バルトン先生の基本思想は、「水循環サイクルに通底する幸福循環サイクルの持続である」と気付きました。これが没後 121 年の先生からのメッセージです。機会を改めて詳しくお話致しましょう。

(2020年9月8日記)

## コロナウイルス禍におけるバングラデシュの人々

最初の感染者が確認される前の3月はじめ、バングラデシュの人々の心のなかに、新型コロナウイルスは新疆ウイグル自治区でムスリムを弾圧する中国への天罰であるという感覚があった。YouTube チャンネルなどでは、バングラデシュでは感染は広まらない、感染して死んでも天国に行けるといような流言がおおびらに流され、政治家たちからは、保健サービスは十分整っているで感染を心配する必要はない、高温多湿なこの国ではコロナウイルスは増殖しないなどと言う言説が流されていた。そして、信心深く、すべては神の思し召しと考えるムスリムたちはモスクへ通い続けていた。

数名の感染者が明らかになった3月中旬、信心深いムスリムを除いて、人々は外出することを心配するようになった。そのあとすぐに、すべてのオフィスが閉鎖され、在宅で仕事をするのが求められた。工場は閉鎖され、市場や商店は営業時間が短縮され、外出や集会は制限されるようになった。そんな習慣がなかったこの国で、すべての人が外出時にマスクをするようになり、バングラデシュ政府は、モスクでの礼拝、EID（断食明けの祭り）や新年（イスラム暦、今年は8月）を祝うことも禁じた。

4月になると死亡者が増えはじめ、人々の心境は移ろい、コロナウイルス患者がケアされない、亡くなった人が病院に放置される、知人が亡くなくても葬式に参列しないとといったケースが増えていった。患者の家族は汚名をきせられ、社会的制裁を被ることになる。海外からの帰国者ばかりかダッカから来た人にさえ、猜疑の

XQGS プロジェクトメンバー Td}#}dg0x}0}dp dq#

目が向けられるようになっていった。隔離された家や孤立した人達を、遠くから取り囲み、好奇の眼を向け、精神的に追いつめていった。

工場、店舗、市場、外食店、移動手段の閉鎖や制限は、これらに生計を依存している都市の貧困層にまず深刻な影響を及ぼすこととなった。国や市、NGO、企業はわずかばかりの食料や金銭を提供したが、全く不十分だった。その後、都市封鎖が始まり、工場は契約を失うリスクがあるのなかで何とか操業することを望んだ。工場労働者たちは、この状況が続けば、コロナウイルスではなく、飢餓で死んでしまうと訴えた。移動することもできない貧しい人たちは、信頼できる情報を得られず、周りで感染した人を無視するようになっていく。そして、狡猾な人たちに感化され、「コロナウイルスは存在しない」といったことばを信じるようになる。マスクも、貧しい人が感染することは少なく、たとえ感染しても死亡率は低いといった記事を掲載する。彼らの労働環境や生活環境は衛生的ではないが、その一方、衛生的な生活環境を享受する富裕層でもコロナウイルスの犠牲になっていく。貧しい人になかには、コロナウイルスは、エアコンの効いた職場、住居で生活する金持ちの病気だと考える人もいる。ほかにも、老人の病気で、若者は感染しないと考えたり、「コロナウイルスは恐れずに足りず、アラーを畏れよ！」と呼びかけられたりする。コロナウイルスの感染予防に忠実でない人たちは、「アラーが救ってくれると信じれば、誰も罹らない」と考えているようだ。

感染が始まってから学校は閉鎖された。最近、大学や



### 貧困層コミュニティ近くの茶店でマスクもせずにくつろぐ人々

一部の学校では、オンラインで授業が再開されたが、スマートフォン、PCがなく、インターネット接続のできない貧しい世帯の子供たちは、教育サービスを受けられない。その結果、女の子は若年結婚、男の子は児童労働を強制されるリスクにさらされる。

多くの個人経営の病院やクリニックは閉められ、たくさんの方が医療サービスを受けづらくなった。

こうしたなか、コミュニティリーダーがマスクを確保し、コミュニティの人たちに無料か安価で配ったところもあるにはあった。薬、消毒液、マスクは値上がりし、貧しい人の手に届かなくなっていった。

3月8日に最初の感染者が見つかった以来、感染者数は337千人（検査数：1,728千人）、亡くなった人が4,733人、回復した人が240千人である。新たな感染者数は減少傾向とみられるが、顕著な傾向ではない〔数字は9月13日現在〕。貧困層コミュニティに暮らす人々も都市に住むすべての人も、コロナウイルスのリスクのもと、生計を維持するべく、以前の日常に戻らざるを得ない状況となっている。

（酒井訳、原題は“Bangladeshi people are no more scared of coronavirus!”）

記者注：本稿は、元JADE Bangladeshスタッフで、現在、本会の活動フィールドであるクルナ市においてUNDP（国連開発計画）が実施中のプロジェクトメンバーとして活動するQazi Azad-uz-zaman氏に依頼したものです。宗教、社会経済的状况により、新型コロナウイルスの影響ならびに人々の受け止め方には相違がありますが、格差や社会の分断、感染者への差別や偏見など我々とも共通する兆候が現れていることがうかがえます。

## 日本下水文化研究会 2019年度決算・2020年度事業予算の改定

2020年度総会において、出席した会員から決算書類（活動計算書、財産目録、貸借対照表）の誤りを指摘されました。今年度への繰越金にも係りますので、今年度の事業予算と合わせて改訂版を会員の皆様にお示しいたします。

なお、決算につきましては、8月8日及び9月23日に再度監事2名の出席のもと、改めて会計監査を行いました。確定版をお伝えするのがたいへん遅くなり、深

謝いたします。

本会報には、改定箇所要点、活動計算書（p.5）、財産目録（p.6）、2020年度事業予算（p.7）を掲載いたします。貸借対照表を含めた会計書類はホームページで参照いただけるようにしておりますので、ご確認いただければと思います。また、質問等がございましたら、事務局までお願いいたします。

（会計担当理事・副代表 渡辺勝久）

### （1）改定の要点

#### 2019年度の本部会計の決算について

##### a. 前年度と異なる点

- バルトン研究会及びし尿・下水研究会は、独立会計とすることとなっていたが、2019年度は本会事業とした。なお、2018年度バルトン研究会収支を2019年度会計のなかで計上した。
- 海外技術協力部会計は、2019年度総会決議により独立会計とした。
- 未収会費は実態として収入が見込めないため、正味財産として計上しないこととした。

##### b. 2019年度活動計算書について

- 2018年度正味財産繰越金：1,290,598円  
2018年度末正味財産額2,245,702円から、未収会費と海外技術協力部繰越金を差し引いた。
- 繰越金を除く2019年度収入：1,423,998円  
2018年度バルトン研究会収入を加え、寄付金収入、書籍販売収入を精査した。
- 2019年度支出：1,213,546円  
2018年度バルトン研究会活動費を加え、監事からの指摘を踏まえ支出費目を精査した。

- c. 当期正味財産増減額および前期繰越正味財産額を訂正した。
- d. 本会は負債がないため、活動計算書における次期繰越正味財産額と財産目録における正味財産額は一致している。
- 2020年度事業予算について
- 前期からの繰越金を2019年度からの次期繰越正味財産額に合わせるとともに、実態に合わせて会員からの寄付金を収入に計上した。
- 以上

(2) 活動計算書及び監査報告

議案第2号の1			
2019年度 特定非営利活動 (本部事業会計 活動計算書)			
2019年4月1日から2020年3月31日まで			
(単位:円)			
科目	金額		適用
<b>I 経常収益</b>			
前期からの繰越金	1,290,598		
受取会費(賛助会員)	600,000		15口
受取会費(正会員)	312,000		78名
正会員寄付	125,000		
受取事業収益	345,570		シンポジウム参加費
書籍販売収入	30,500		講演集販売費
バルトン・久保起会計の収入	10,900		講演会参加費
受取利息	28	2,714,596	
計			2,714,596
<b>II 経常費用</b>			
会議費	215,908		
記念品	79,200		名誉会員記念賞・バルトン記念賞
バルトン・久保起会計の支出	135,949		2018年度、2019年度の活動費
業務委託費	388,744		印刷費等
事業支援費	150,000		海外支援業務助成金
謝礼金	10,000		
消耗品	60,524		プリンターインク代等
租税公課	480		
通信運搬費	102,666		郵送費等
手数料	23,427		振込手数料等
旅費交通費	46,648	1,213,546	
計			1,213,546
当期正味財産増減額			210,452
前期繰越正味財産額			1,290,598
次期繰越正味財産額			1,501,050
<b>監査報告</b>			
2020年度総会で、2019年度会計報告につき質問を受けたことから、改めて監査を実施しました。2018年度収支が未計上であった事項の繰り入れ、各費目内容について整理すべきことを指摘しました。その結果、表記のように修正され、適正に処置されたことを報告します。			
2020年9月23日			
監事 谷口 尚弘 監事 松田 旭正			
※正味財産に未収会費は含まれない			

(3) 財産目録

議案第3号		2019年度 特定非営利活動 (本部事業会計 財産目録)		2020年3月31日現在		(単位:円)	
科目		金額					
<b>I 資産の部</b>							
1.流動資産							
現金預金							
現金	本会		3,458				
	バルトン		28		3,486		
普通預金	本会	みずほ銀行東京中央支店東京都庁	555,176				
	本会	ゆうちょ銀行・花園郵便局	615,647				
	バルトン	三菱東京UFJ	26,503		1,197,326		
未収入金							
	未収会費		0		0		
定期預金	下水文化振興基金	みずほ銀行新宿西口支店	300,238		300,238		
流動資産合計						1,501,050	
2.固定資産							
固定資産合計						0	
資産合計						1,501,050	
<b>II 負債の部</b>							
1.流動負債							
流動負債合計							
負債合計						0	
正味財産						1,501,050	

運営委員会より

- ① 総会后、主たる事務所の住所変更登記ならびに東京都への定款、事務所住所変更手続きを終えました。設立以来、初めて法務局の所管が新宿出張所から東京法務局本局へ移転しました。
- ② 7月に20周年記念誌を発行したこともあり、今年度の機関誌の発刊が例年より遅れていますが、鋭意編集集中です。今しばらくお待ち願います。

編集後記

バルトン先生胸像再建を通じた日台交流は大いに盛り上がりを見せています。バルトン忌当日は、日本、台湾の報道関係者が数多くつめかけ、写真撮影ではカメラマンの数の方が撮影される参加者数を圧倒していました。これから先、新型コロナウイルス禍が終息し、予定されている台湾での記念行事に日本から多くの方が参加されることを期待します▶海外技術協力部のプロジェクトは、現地に行けない状況下で、Zoomでのミーテ

ィングを含めて実施しています。今回、現地の状況を我々の元スタッフから寄せてもらいました。手洗い場も十分になく、圧倒的な医療インフラの不足のもと、人々は諦観せざるを得ない状況のようです。そうしたなかで、啓発活動を始めていますが、感染拡大を防止するための最大限の対策を図っていきたいと思います。

(酒井 彰)

**特定非営利活動法人 日本下水文化研究会**  
 〒101-0027 東京都千代田区神田平河町1番 第3東ビル710号室  
 e-mail: jade@jca.apc.org  
 URL: <http://www.jca.apc.org/jade/index.htm>  
 URL(ブログ): <http://blog.goo.ne.jp/jadetokyo>

次ページに2020年度事業予算書を掲載しています。☞

(4) 2020年度活動予算書

議案第5号の2		
2020年度 特定非営利活動 (本部事業会計 予算書)		
2020年4月1日から2021年3月31日まで		
特定非営利法人 日本下水文化研究会		
(単位:円)		
科目	金額	備考
<b>I 収入の部</b>		
前期からの繰越金	1,501,050	
会費収入(賛助会員)	392,000	正会員98人
会費収入(正会員)	640,000	賛助会員16口
会費収入(未収金)	80,000	正会員10人、賛助会員1口
正会員寄付	125,000	
書籍販売等	20,000	30周年記念誌20冊
基金より	200,000	
受取利息	0	
計	2,958,050	
<b>II 支出の部</b>		
1.委員会事業への支援費		
流域水循環文化研究委員会	30,000	
近代化遺産調査認定委員会	30,000	
し尿・下水委員会	30,000	
海外下水文化委員会	30,000	
バルトン忌	50,000	バルトン忌(管理費・花代)
日本水循環研究協会設立準備会	200,000	
台北バルトン胸像負担	150,000	
2.助成事業への支援費		
海外技術協力事業(バングラ)	250,000	
3.管理費		
定時総会開催費用	20,000	6月 会場費・資料代
【継続】30周年記念行事(記念誌作成)	650,000	印刷費・発送費
流域水循環シンポジウム開催費用	20,000	11月 会場費
シンポジウム講演資料(100部)	50,000	印刷費
文化研事務所賃料	240,000	賃料 月額2万円
「ふぐりゅう」送付費用	5,000	郵送料
「下水文化研究」発刊費	200,000	印刷費・送料
委託費(文字起こし)	30,000	
消耗品費	60,000	コピー代・インク代
手数料	20,000	金融機関手数料
交通費	30,000	運営委員交通費(6人×5回)
謝金	50,000	表紙等のデザイン(高村氏)
改組に伴う費用	20,000	交通費ほか
事務局維持費	20,000	備品、交際費、その他
4.積立金		
	0	
5.会員増強対策		
	100,000	会員募集郵送料
5.予備費		
	100,000	
計	2,385,000	
次期繰越金	573,050	